

防災の日 成城台地区合同避難訓練

9月1日、防災の日に成城台地区で広域避難場所である四季の丘公園への避難訓練が行われました。

参加者は成城台コミュニティーセンターへ集まり、高齢者疑似体験セットの装着や、けが人が発生したとの想定でけが人役の人が車椅子に乗るなどし、四季の丘公園へ向けて出発しました。

車椅子を使用すると普段は何の問題もない段差などが障害になるなど、体験してみないとわからないことを確認でき、参加者からは良い体験になったとの声が聞かれました。



雨にもかかわらず、多数の方が参加しました



いつでも誰でも利用できるよう玄関脇(室外)に設置

四季の丘コミュニティーセンター AED(自動体外式除細動器)を設置

四季の丘自治会では緊急時に備え、コミュニティーセンター玄関脇にAEDを設置しました。

また、AED導入に伴い9月19日には、住民を対象に約30名が参加し成田市消防本部が実施する「普通救命講習」を行い、AEDの取り扱いなどについて学びました。

AEDとは・・・

心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器で、使用の際は音声ガイド付きで簡単に操作できるようになっています。

ボランティア連絡協議会主催 神崎中学校 心肺蘇生法・AED講習

9月11日、神崎中学校2年生が心肺蘇生法からAED使用までの一連の流れを実習体験しました。

大栄消防署下総分署の方が指導者となり、人形を使い胸骨圧迫とAEDの使い方を実践。生徒たちは、思いのほか体力を使う胸骨圧迫に苦戦しながらも、人を助けることの大変さを実感しました。

主催者であるボランティア連絡協議会高柳会長は、この体験を通して「もしもの時に人を助ける勇気を持ってほしい」と話されました。



指導員からAEDの使い方を真剣に聞きます